

## 書 評



本 谷 勲

地球に優しい式の本が数多く出されている。前回の公害が中心の環境問題に対して今回は地球規模の環境問題という特長がある。公害に較べて重大らしいが身近ではないという矛盾を、個人レベルでも対応しなければならないという願いから発しているものとする。評者の手もとにあるのは、「エコロジカル ライフスタイル（環境庁企画調整局編、リサイクル文化社、1988年）」、「地球を救う133の方法（アースデイ日本編、家の光協会、1990年）」、「地球を救うかんたん50の方法（ジ・アース・ワークス グループ編、講談社、1990年）」、「地球にやさしい生活術（ジョン・シーモア他著、TBS ブリタニカ、1990年）」、「地球となかよく暮らす本（上田三根子他著、ファンハウス、1991年）」の5点である。いずれも再生紙を使用しており、そのことを断っている。環境庁の本はずばぬけて早い、多くは1990年に集中していることが、これだけのサンプルからも窺うことができる。この種の本を徹底して集めたらその辺りの傾向がはっきりするだろう。しかし、それはこの書評の目的ではない。

「エコロジカル ライフスタイル」は1988年環境庁、日本環境協会の主催で行なわれた「環境保全ビジョンシンポジウム——エコロジカルライフスタイルを考える」の収録で桐島洋子氏の基調講演「蒼空に出逢いを求めて」、小林節夫氏司会の6人の討議、エコロジカルライフスタイルを語る、押田勇雄氏他13氏の論考からなっている。おそらく、基調講演と討議が元のシンポジウム内容で、成書にするにあたって論考をつけ加えたのであろう。88年という時点を考えれば先見的な企画であったと言えよう。

「地球を救う133の方法」はアースデイ日本編となっているが、1990年4月20日の環境問題を考え周りにアピールした国際的行動の日本のひとつのグループの提言である。地球を救うごみの出し方、エネルギーの使い方、水とのつきあい方、住

まい方、食物と食べ方、歩き方・動き方、汚染物質のかくし方、自然との接し方、人びとの活動について具体的な主張がやさしく述べられている。

「地球を救うかんたん50の方法」は89年にアメリカで出版された本の翻訳だが、日本の事情に合うよう加筆されている。

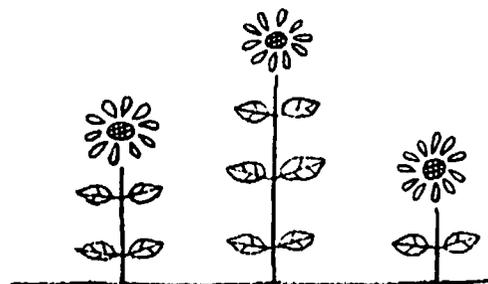
「地球にやさしい生活術」はイギリスから出版された本の翻訳そのもので、水、食物、農業、ごみ、有害物質、エネルギーといった上にあげた本とも共通する個々の問題の理由をややくわしく述べている。

「地球となかよく暮らす本」は3人の共著で、環境に対する配慮とともに出産前の胎児のためのエコロジーに触れている。

以上、題名に表現されているように、日常生活の具体的な見直しを訴えることから、環境問題を考えさせようとしている。その点では環境庁編の本を除いて、どの本にも共通して、ネットワークを広げるための団体の連絡所が紹介されていて、単なる知識にとどまる事無く、行動に立ち上がる工夫がなされている。

この種の本はまだまだあり、子供を対象としたものもある。これらを詳しく調べたわけではないが、環境白書などが1963年版あたりから、日本の公害が克服され、環境問題は地球規模の性格を持っていることを強調している風潮を考え合わせると、今日の環境問題の本質を見誤らせる懸念が無くはない。すなわち、国連の「環境と開発に関する世界委員会」の報告書 Our Common Future, 1987（邦訳、地球の未来を守るために、福武書店、1987年）」に示されているように、現在の地球規模の環境破壊の原因は、先進国における軍事と経済の巨大な開発と発展途上国における貧困にあるという原因が、人類一般の生活態度にあるかのような錯覚を起こさせることである。したがって先進国の浪費に近い生産の見直しと、発展途上国の貧困の改善と結びつく方向でこの種の身近な

生活の見直しが重要であろう。しかし、一度、この種の本が流布され、人々がそれによって環境問題に関心を持つ、という身近な環境教育の効果をこの種の本が持っていることは評価されるべきであろう。



● **ご存知ですか？… 新聞切抜き情報誌**

全国の新聞から検索した記事を整理・資料化してお届けします

月刊  
切抜き

**保健**

定価3,090円(本体3,000円) B5判200頁25日発行  
年間予約購読料35,000円(送料・消費税を含む)  
※別冊季刊切抜き「福祉情報」がついて年16冊

編集内容

**環境問題**

- ◆官報資料 ◆連載記事 ◆環境問題 ◆医学・医療
- ◆生活・労働と安全 ◆健康と生活

★環境保全(環境会議、環境教育)★環境行政(ゴミ処理問題、駐輪公害)★環境汚染(大気汚染(NOx、スパイクタイヤ公害、フロン・オゾン、地球温暖化、アスベスト、水質汚濁、土壌汚染、酸性汚染、騒音・振動、水俣病など)★公害訴訟★住民運動★その他

◆ご購読は、購読者名・送付先・電話・購読開始の月号・払い込み予定日を記入し、ご押印のうえ下記へお申し込みください。なお、バックナンバーもごぞいます。

**株アイオーエム**

〒142 東京都品川区戸越1丁目12番9号  
電話 03-3788-0521 FAX 03-3788-0538 郵便振替 東京6-163672